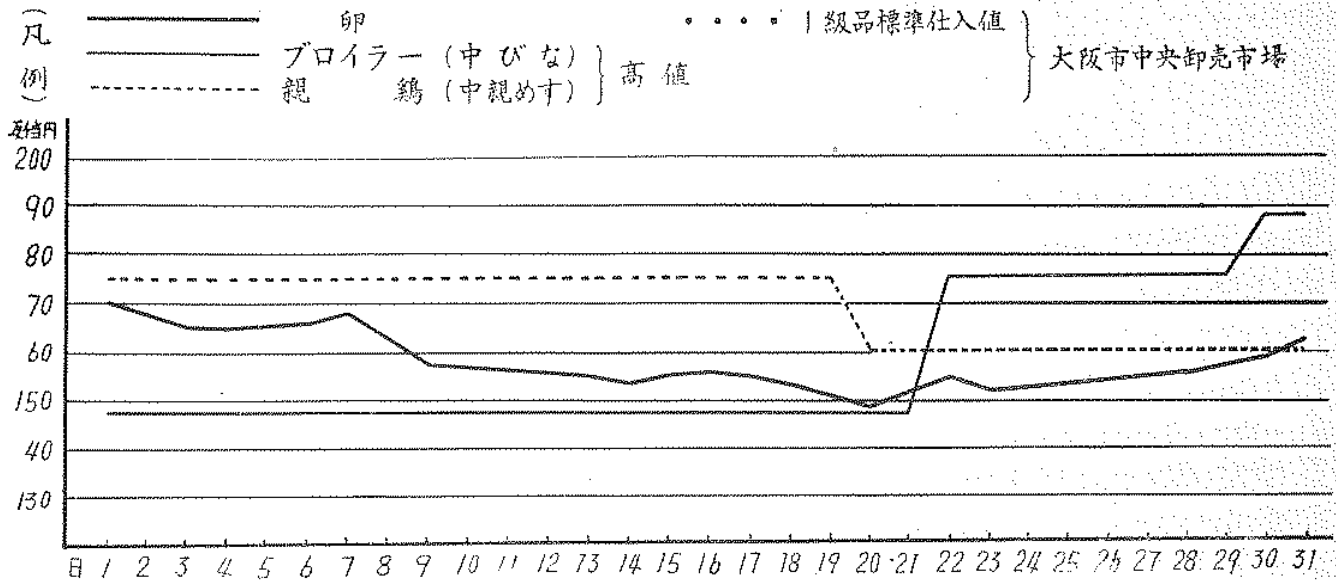


鶏卵食鶏市況月報

(36年3月)

大阪経済事務所



平均価格 (円当)	36年3月		35年3月	阪神地区入荷推定数量	岡山	卵 産 産	ブロイラー 羽	親鶏 羽	共同出荷実績	経済連	卵 産	ブロイラー 羽	親鶏 羽
	卵	円	円										
	卵	158	170		岡山	1,340,000	36,000	30,000		経済連	574,000	—	—
	ブロイラー	157	227		香川	870,000	48,000	40,000		西大寺	10,500	—	—
	親鶏	169	202		大阪	1,460,000	78,000	70,000		美作	38,000	—	—
					その他	1,490,000	92,000	110,000		養鶏加工連	—	11,000	—
					計	5,160,000	254,000	250,000		計	622,500	11,000	—

出回りが2月より約20%増となったため相場は月始めより下げの一途を辿って一時は150円を割る相場をみせるなど、昭和33年以來の安値となったが、20日以降は漸次持直して160円がらみとなって4月に入った。4月は花見時であるので、末端の需要が旺盛であるが、出回りが3月より更に多くなっていることからして、たいした上げ相場は期待できず、170円がらみが頂上相場とみられる。マヨネーズ生産は最盛期に入っているが、労力不足が原因で操業が100%実施されておらない現況で、一方香港輸出は3月中に神戸港より14,000ケース売出され2月の倍量に達しているが、需要が小卵に集中するため荷が揃わず今一つ伸びやんでいる状況である。

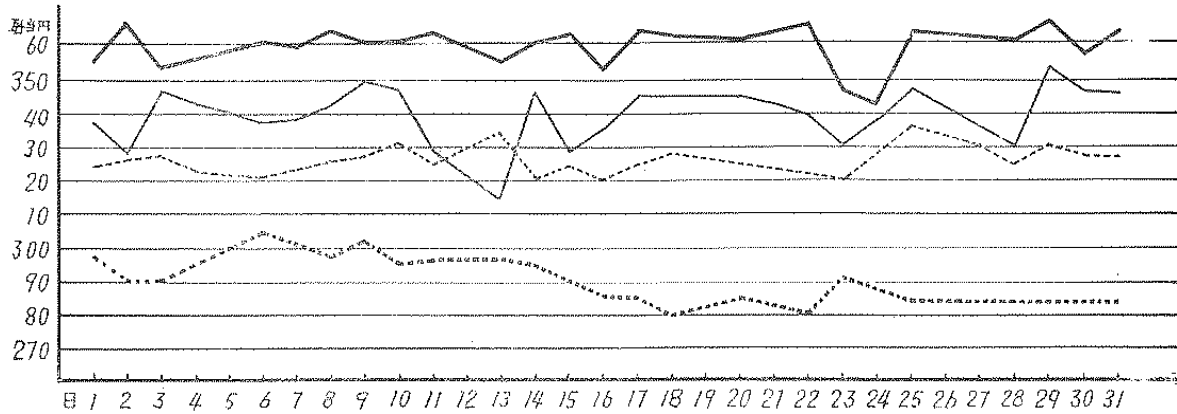
食鶏の出回りも相変わらず多く3月の平均相場は若鶏の中びなで円160円がらみで、昨年同期より60円安と低調である。4月に入って175円がらみの相場をみせているが、依然として弱気配の市況が続いている。

肉畜市況月報

(36年3月)

大阪経済事務所

凡例
 〰〰〰〰 ぬき
 〰〰〰〰 ぬき
 〰〰〰〰 おす
 〰〰〰〰 豚
 中値(大阪市食肉卸売市場)



団体名	頭数	平均単価	枝肉量 (kg)	売上金額			摘要		
				枝肉	原皮	内ぞう計			
共同出荷	泉畜連	ぬき 1	280	235.2	65,850	332,500	221,550	5,378,800	中央畜産KK
		ぬき 3	333	655.6	218,080				
		ぬき 54	348	12,386.1	4,315,730				
		おす 2	332	532.7	176,610				
		おす 1	307	156.9	48,480				
		おす 24	279	1,900.7	419,240				
高陽農協	豚 67	285	4,082.4	1,163,290	—	38,480	1,201,770	〃	
荷	経済連	ぬき 1	354	240.9	85,278	5,500	3,854	94,632	〃
		ぬき 5	337	1,067.4	359,688	27,500	17,078	404,266	〃
		豚 53	280	3,068.1	658,889	—	29,146	888,035	徳島ハムKK
実績	美作畜協	ぬき 2	377	514.5	193,770	225,500	164,250	4,061,270	大阪畜産KK
		ぬき 36	359	8,606.5	3,085,760				
		おす 3	342	1,144.7	391,990				
		豚 139	286	7,613.4	2,183,380				
高畜連	高畜連	ぬき 1	354	234.7	83,080	22,000	15,690	381,490	〃
		ぬき 2	354	480.4	170,050				
		おす 1	341	265.9	90,670				
江見農協	豚 8	299	461.4	138,230	—	4,290	142,520	〃	

平均価格(円当)	36年3月		35年3月		と畜頭数(大阪市と場)	牛	4,314
	ぬき	357円	327円	ぬき		544	
	ぬき	339	309	豚		8,697	
	おす	326	295	馬		85	
	豚	291	306	めん羊		21	

2月より牛において800頭、豚では1,700頭の出回り増であったが、大体牛は保合商状で堅調であった。一方豚は出回り増が応えて、月始めより下げ歩調を辿って4月に入ってもいよいよ安く、4月10日には中物で尻270円を割って265円がらみとなり前年同期より55円安と低調相場に転じて来た。現在枝肉市場の冷ぞう庫は豚の入庫で一杯で加え

て相変わらず出回りが多いため、ますます気配は弱く現在よりまだ下げ相場がみられよう。一方牛は堅調相場で推移しよう。